

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井/阿部/吉田/高橋
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
後期の学習のイメージをつけることができる <教員経歴> 今井/阿部:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プロント配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 スケジュール確認 【到達目標】 後期のスケジュールが理解できるようになる						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職課有働について・教材理解・教科書理解 【到達目標】 後期の授業概要を理解し、これからの学びのイメージを持つ 自身が今後使用するヘアやメイクの教材について把握し、使用方法が理解できる						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ (professional seminarⅡ)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	今井 阿部 吉田 高橋
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	金曜1,2,3,4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイク業界の理解を深め、社会人として必要な教養・マナーを学び、現場実習に活かすことが出来る ヘアメイクの業種・分野を理解し、自身の将来像を明確にすることができる 就職活動における基盤を作り、スムーズに実践できるようになる							
<教員経歴> 今井/阿部:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している							
【授業を通じての到達目標】							
美容のプロになるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることが出来る 目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出し、自主的に行動できるようになる 自己分析することができ、就職活動における基本的な履歴書作成ができるようになる 志望する業種・分野をしぼることができ、インターンや現場実習に積極的に参加することができる							
【使用教科書・教材・参考書】							
毎授業時にteams共有				【持ち物】 就職活動ノート・筆記用具			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	前期を振り返り、後期目標を設定し、自己変革期に向けスタートを切る 後期授業・スケジュール・を理解し、自分自身で今後のスケジュールリングが出来る 就職活動の流れを理解することができる【就職活動ノート①】						
2	在校生(2年生)の話を聞き、進路・就職活動について考える 就職活動ルールを理解することができる【就職活動ノート②】						小テスト5点
3	履歴書のルール・マナーを理解し、左半分を完成させることができる【就職活動ノート③】						
4	卒業生(HM・BR)の話を聞き、進路・就職活動について考える 自己分析を行い、自分自身について専門的に知り、内容をまとめることが出来る【就職活動ノート④】						
5	他己分析を行い、他人の長所発見とシェアが出来る より客観的に自分の長所について理解し、まとめることができる【就職活動ノート⑤】						小テスト5点
6	卒業生or業界(セットサロン・美容師・アイリスト)の話を聞き、進路・就職活動について考える ブレ職種決定アンケート①にて自分の進路について真剣に考える						
7	【中間テスト】6週目までの内容を理解し、アウトプットすることができる 自己PRの書き方のポイントを知り、2つの文章を完成することができる【就職活動ノート⑥】						中間テスト20点
8	卒業生(HM)の話を聞き、進路・就職活動について考える 志望動機の書き方のポイントを知り、文章を完成することができる【就職活動ノート⑦】						
9	履歴書完成させ、学校提出を完了できる						
10	ブレ職種決定アンケート②にて自分の進路について真剣に考えることができる 選択職種の業界研究・業界研究シート作成						
11	選択職種の業界研究・業界研究シート作成 作った業界研究に沿って効果的なプレゼンテーションの練習をすることができる						
12	業界研究シート作成発表 相手に見やすく・分かりやすくシートをまとめることができる 自分の思いをのせて、堂々とプレゼンテーションが出来る						小テスト10点 (期限内提出点 5点 発表点 5点)
13	(確定版)職種決定アンケートにて今後自分が進む進路に向けて決意を新たに する 集団模擬面接のマナー・礼儀・ポイントを理解する						
14	集団模擬面接練習 受験生側と面接官側の両方を体感し、気づきを得ることが出来る						
15	【定期テスト】集団模擬面接試験 面接試験を行い、入退室マナー・自己PR・長所短所などについて面接官からフィードバックを受け 出来ているところ・努力すべきところを把握できる						定期テスト60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	業界研究Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井 阿部 吉田 高橋
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
＜教員経歴＞ 今井/阿部:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している							
【授業を通じての到達目標】							
自身が将来進みたい分野の具体的な仕事のイメージつけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】ヘアメイクの働き方(事務所)						
2	【到達目標】事務所で働くヘアメイクの具体的なイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる						
3	【授業単元】ヘアメイクの働き方(スチール・広告)						
4	【到達目標】スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事の具体的なイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる						
5	【授業単元】ヘアメイクの働き方(映像系)						
6	【到達目標】映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事の具体的なイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる						
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り						
8	【到達目標】今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる						
9	【授業単元】ヘアメイクの働き方(ブライダル)						
10	【到達目標】ブライダルヘアメイクで働くことの具体的なイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる						
11	【授業単元】ヘアメイクの働き方(フォトスタジオ)						
12	【到達目標】スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを具体的に理解出来る フォトスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる						
13	【授業単元】ヘアメイクの働き方(サロン)						
14	【到達目標】美容サロンで働くヘアメイクの仕事の具体的にイメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる						
15	【授業単元】定期試験 振り返り						
【到達目標】ヘアメイクの仕事をつータルな視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる							
【特記事項】					【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		

科目名 (英)	業界特別授業Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井/阿部/吉田/高橋
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	通年 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
各企業より人事担当者が来校し、業界周辺の状況と顧客ニーズ、トレンド分析を実施する							
【授業を通じての到達目標】							
将来の就職分野の状況を知る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介						
2	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
3	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
4	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
5	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
6	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
7	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
8	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
9	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介						
10	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
11	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
12	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
13	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
14	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
15	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Basic Hairmake Design I (Basic Hairmake Design I)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	大瀬/永井/小林	
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜1,2 水曜3,4 金曜1,2 金曜3,4	
学科・コース	ヘアメイク科							
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
講師はそれぞれヘアメイク現場経験を有する。様々な場面で活用できるメイクアップ技術や、知識を基礎から学び習得する。								
〈講師経歴〉								
大瀬：外資系化粧品ブランドで13年以上メイクスキル指導やメイクアップアーティストとして実務。ファッションショーのバックステージやMV、CM等のメイクにも携わる。								
永井：アパレル業界(8年)を経て美容に転身し15年。現在はブライダル(8年)を中心に活動し着付師としても活躍。セットサロン(5年)、雑誌、広告、テレビ局の経験も有り。								
小林：ヘアメイクアーティストに師事後、フリーランスとして現在15年活動中。ファッションショー、雑誌、MV、CM、TV、ドラマ、映画、舞台、ブライダル等様々な現場に携わる。								
【授業を通じての到達目標】								
メイクアップの基本技術や知識を経て、理論や応用技術を習得し更なる技術向上を目指す。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
メイク道具一式								
回	授 業 概 要					テスト配点		
1	ブラシの種類や使い分け、手技をブラッシュアップし知識と技術力の向上を目指し修得する							
2	肌作り、アイブロウの形の応用技術を学び習得する					小テスト 10点		
3	コスメブランド別のトレンドや歴史を学び世界観を広げる ①							
4	コスメブランド別のトレンドや歴史を学び世界観を広げる ②							
5	コスメブランド別のトレンドや歴史を学び世界観を広げる ③							
6	コスメブランド別のトレンドや歴史を学び世界観を広げる ④							
7	中間テスト課題を時間内に完成させる					中間テスト 20点		
8	顔の骨格、パーツごとの形の分析をしフルメイクをプレゼンテーション出来るようになる							
9	似合わせ① 課題に沿ったメイクを相モデルで実習しプレゼンテーションする							
10	似合わせ② 課題に沿ったメイクを相モデルで実習しプレゼンテーションする					小テスト 10点		
11	変身メイクで肌のカバーリングの応用を学び修得する							
12	和装に合うメイクアップを学び知識と応用技術を習得する							
13	季節毎の肌状態を理解し、合うメイクアップや技術を学び習得する							
14	定期テスト課題の練習をし、技術の向上と習得する							
15	定期テスト課題を時間内に完成させる					定期テスト 60点		
【特記事項】				【評価について】				
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点				
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

科目名 (英)	Basic Hairmake Design II (Basic Hairmake Design II)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	木本/大井/中村
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜1,2 水曜3,4 金曜1,2 金曜3,4
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実際に現場で働く講師よりトレンドを学びながら基礎の土台を固める。 ウィッグを用いてはじめての技術を練習した後、プロフェッショナルの技術を身に付ける為の基礎技術と理論を学ぶ。							
〈講師経歴〉 木本:モデル事務所にてヘアメイクとして5年勤務。広告、イベント、雑誌、ブライダルショー等を中心に活動。その後海外でウェディングヘアメイク、コーディネーターとして経歴を積み、10年挙式施行にも携わり活動をの幅を広げる。帰国後フリーランスになりブライダルを中心に講師としても活動中。 大井:ブライダル業界ではサロン勤務やフリーランスとして15年以上従事し、その他にもファッションショー、雑誌の撮影、舞台等20年以上にわたり幅広く現役で活動している。 中村:美容師を経て、フリーランスとしてセットサロンに所属しながら声優、舞台、ショー、イベント、ブライダルのヘアメイクに従事。セットサロンでは15年以上スタッフ育成の講師も務める。							
【授業を通じての到達目標】							
ベーシックなスタイルからトレンドのスタイルまで幅広く基礎技術を身に付け、サロンスタイルや現場実習に対応出来る力を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【ホットカーラー】 ホットカーラーの巻き方と構成を学び、全頭巻けるようになる						
2	【ホットカーラー+スタイル①】 ホットカーラー巻きテスト/ゆるふわスタイルを完成させる					小テスト10点	
3	【すき毛+スタイル②】 すき毛の特性を学び、すき毛を用いてスタイルを修得する						
4	【すき毛+ホットカーラー+スタイル③】 仕込みにホットカーラー巻きをして、すき毛を用いてスタイルを完成させる						
5	【逆毛+すき毛+スタイル④】 逆毛の理論を学び、ビッグスタイルを修得する						
6	【逆毛+すき毛+スタイル⑤】 逆毛とすき毛を用いて面スタイルを完成させる						
7	【スタイル⑥】 1～6で修得した技術を用いてスタイルを完成させる(中間テスト練習)						
8	【スタイル⑥】 1～6で修得した技術を用いてスタイルを完成させる					中間テスト20点	
9	【サロンスタイル⑦】 セットサロン向けのヘアスタイルを修得する						
10	【サロンスタイル⑧】 セットサロン向けのヘアスタイルを修得する						
11	【サロンスタイル⑨】 成人式ヘアスタイルを修得する						
12	【サロンスタイル⑨】 成人式ヘアスタイルを修得する					小テスト10点	
13	【似合わせスタイル】 似合わせの技術を学び相モデルにてスタイルを完成させる						
14	【似合わせスタイル】 1年間の技術を用いて似合わせスタイルを完成させる(定期テスト練習)						
15	【似合わせスタイル】 1年間の技術を用いて似合わせスタイルを完成させる					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	現場トレーニングⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部
学科	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	(月) 後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師および美容学校で長く実務経験のある教員が担当 自分たちの持つイメージを伝えられるようなスタイリング・表現で、イメージ写真を具現化していくことを体得していく 自分の技術をアピールする力を身につけることができる ＜教員経歴＞ 阿部：美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクアーティスト・ヘアメイクアシスタントに必要な知識・技術を習得する ヘアメイク現場の実践イメージを掴むことが出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時にteams共有				毎授業時にteams共有			
回	科目	授 業 概 要				テスト 配点	
1	ブロー演習	ハンドドライ、カールアイロン技術の体得(平巻き・縦巻き・巻きつけの復讐)(スパイラル巻き・毛先逃がし巻き・ストレートアイロン) 基本的なアイロン技術を習得することができる					
2		デンマンブラシによるワンレングスのブローの体得、シルエットの理解 ブラシの使い方を理解することができる					
3		デンマン&ロールブラシによるワンレングスのブローの体得、ストレートアイロンによる波ウェーブ ワンレングスをブローし、ブラシの違いを理解することができる					
4		ロールブラシによるワンレングスのブロー、 カールアイロンによる波ウェーブ ロールブラシを使ってブローができる					
5		ブロー、アイロン技術を取り入れ、スタイルを完成することができる					
6	シャンプー演習	シャンプーの流れを理解する 相モデルでシャンプーの流れ、洗い方を学ぶ/シャンプーの手順を覚える					
7		中間テストトリートメントの仕方を理解する ウェット、シャンプー、トリートメントを通して出来るようになる					
8		マッサージの流れを理解する ヘッドマッサージの技術、手順を覚える					
9		ヘッドスパの流れを理解する ヘッドスパの手順を覚える/頭皮のツボを覚える					
10		時間を意識した施術をする 目標タイム20分で施術が出来るようになる					
11	メンズスタイリング 演習	メンズスタイリングとレディーススタイリングの違いを知る					
12		スタイル別ヘアセットの解説					
13		スタイリングベースづくり(ウィッグ使用)					
14		アイロンを使用したスタイリングづくり					
15		ヘアスタイリング剤を使用してスタイル別ヘアセット					
【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) 評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。							

科目名 (英)	デザインイラスト演習(集中) (Design Illust)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	今井／久保
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日 1, 2, 3, 4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)講師50音順							
現場経験豊富なヘアメイクアーティストから、実際の現場で活用できるイラスト、メイクフェイスチャート、デザインについて学ぶ							
<講師経歴> 今井:音楽系芸能プロダクションにヘアメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアメイクにて活動中。美容、アパレル業界を中心にブランディング、商品開発に携わり、イラストデータによる各デザイン画の提案もしている。 久保:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年)お客様やブランドBAに向け、フェイスチャートによるメイク提案もしている。							
【授業を通じての到達目標】							
各授業デモンストレーション時のメモと、スチール撮影、コンテスト時に使用するコンセプトシートの描き方(電子&メイク道具)を習得し、様々な業種、アプローチ方法の選択肢を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
teamsコマシラバスに記載							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	電子イラスト ラフデザイン～仕上がり アイデアの広げ方 コンセプトシート ※仕上がりデータ回収						
2							
3							
4							
5	前回電子イラスト優秀者公表 フェイスチャート 仕上げ 優秀者発表						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	総合演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井/阿部/吉田/高橋
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファイナンシャルプランナーから社会人として自立するための経済的な知識を学ぶ <教員経歴> 今井/阿部:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している							
【授業を通じての到達目標】							
自らの収支に対する意識が持てるようになり、就職後の生活をイメージ出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 本講座について説明						
2	【到達目標】 事前準備						
3	【授業単元】 税金・社会保険について						
4	【到達目標】 各種税金の内容について知る						
5	各種社会保険の仕組み、内容について知る						
6	【授業単元】 確定申告について						
7	【到達目標】 確定申告の種類、申告方法について知る						
8							
9	【授業単元】 ライフプラン、生計プランについて						
10	【到達目標】 ライフプラン、生計プランの立て方を知る						
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 特別講座は出席評価とする			

科目名 (英)	Photo Shooting I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井 木本 松本 堤 秋本 鈴木 久保 清水 大瀬 高石 永井 佐藤
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期 集中
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実務経験豊富なヘアメイクアーティストからヘアの応用技術を学ぶ。 学んできた基礎をもとに様々な技術を組み合わせたスタイルに挑戦し、人頭の施術を通して髪質、カットラインに合わせた技術選択や、モデルやイメージに合わせた構成を学び、バリエーション豊かなデザインを表現することができるようになる。 〈講師経歴〉 今井：音楽系芸能プロダクションにヘアメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアメイクにて活動中。 木本：モデル事務所にてヘアメイクとして5年勤務。広告、イベント、雑誌、ブライダルショー等を中心に活動。その後海外でウェディングヘアメイク、コーディネーターとして経歴を積み、10年挙式施行にも携わり活動をの幅を広げる。帰国後フリーランスになりブライダルを中心に講師としても活動中。 松本：美容学校を最優秀で卒業後、心斎橋のサロンに入社、拠点を東京へ移し独立。現在も国内外のアーティストやタレントを担当しており、広告、カタログ、イベントやショーなど多岐に渡る分野で活動中。 堤：外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年) 秋本：外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中 鈴木：外資系ブランドで2年間勤務後フリーランスと活動。主にメンズ、ステージメイク等を行っている(10年) 久保：外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年) 清水：外資系化粧品ブランドで勤務後、フリーランスヘアメイクとしてファッションショー、スチール撮影に携わる。 大瀬：外資系化粧品ブランドで10年以上メイクアップアーティストとして実務。バックステージMV等のメイクの経験も有する。 高石：高校在学中に美容学校と並行しヘアサロン勤務を始める。国内外で活躍するHair&Make-up Artist Eita氏に3年師事した後独立。自身でも渡仏しParis Fashion weekのヘアチームの現場を経験する等、活動の幅を広げる。美容業に携わり現在16年以上のキャリアになる。タレント、雑誌、広告の現場やアーティストグループからの指名もあり、ミュージックビデオのヘアメイクやヘアウィッグ、ヘッドピースの製作とアートワークにも力を入れている。様々な現場経験を活かして多様なヘアメイクスキルを伝えていきたいと、現在講師の仕事でも活動中。 永井：アパレル業界(8年)を経て美容に転身し15年。現在はブライダル(8年)を中心に活動し着付師としても活躍。セットサロン(5年)、雑誌、広告、テレビ局の経験も有り。 佐藤：表参道のサロンで10年勤務後フリーランスで活動しながら芸能事務所にヘアメイクアーティストとして所属。撮影は主にアパレルのカタログやムック、アーティストのアー写や雑誌媒体など。現在は美容師としてサロンワークしながらフリーで活動。講師としてのキャリアもあり、美容師とヘアメイク、広い視点で教育にも携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、スチール用にモデルをヘアメイクできるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションA						
2	【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。						
3	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションB						
4	【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。						
5	【授業単元】 イメージヘアメイク①A						
6	【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
7	【授業単元】 イメージヘアメイク①B						
8	【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
9	【授業単元】 イメージヘアメイク②A						
10	【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
11	【授業単元】 イメージヘアメイク②B						
12	【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
13	【授業単元】 ビジュアルコピーヘアメイク AB合同						
14	【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現するにあたり、研究とリサーチが十分か。 モデルに似合ったビジュアルになっているかが基準。						
15	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。						
【特記事項】				【評価について】			
				●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク総合Ⅰ (ヘアメイク総合Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤・久保・鈴木・清水・大瀬・秋本
		授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	木曜日1,2限 3,4限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクやスキンケアなどの応用を理解し、メイクの色や形など応用技術を学ぶ。 ヘアと同時進行で授業を進め、ヘアメイクの総合技術またトレンドを身につけ現場などで活かせる技術を習得する。							
<講師経歴> 堤:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動。(12年) 久保:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年) 鈴木:外資系ブランドで2年間勤務後フリーランスと活動。主にメンズ、ステージメイク等を行っている(10年) 清水:外資系化粧品ブランドで勤務後、フリーランスヘアメイクとしてファッションショー、スチール撮影に携わる。 大瀬:外資系化粧品ブランドで10年以上メイクアップアーティストとして実務。バックステージMV等のメイクの経験も有する。 秋本:外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を修得しメイク技術を上げる事で、数あるジャンルのメイクに対応出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、鏡用雑巾、手指消毒液							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	Hair & Make 合同 スチール説明会						
2	トレンドメイクを習得する						
3	Black Eye Makeを習得する						
4	コントウア・グリッター・つけまつげ						
5	ペイント(グラデーション・マスキングテープ)						
6	ヘア&メイク合同 各自スチール練習					小テスト 5点	
7	ヘア&メイク合同 各自スチール練習					中間テスト 20点	
8	模写メイクを習得する						
9	模写メイクを習得する						
10	ウィッグ導入+持ち込み模写					小テスト 5点	
11	バリエーション技術の習得						
12	バリエーション技術の習得						
13	ウィッグ作成					小テスト 5点	
14	ウィッグ作成					小テスト 5点	
15	定期テスト					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅱ (ヘアメイク総合技術Ⅱ)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	今井/木本/松本 永井/高石/佐藤
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 1.2限 3.4限
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実務経験豊富なヘアメイクアーティストから現場でのヘアメイクを想定した基礎のヘアースタイルを学ぶ。 学んだ基礎をもとに様々な技術を組み合わせたスタイルに挑戦し、人頭の施術を通して髪質、カットラインに合わせた技術選択や、 モデルやイメージに合わせた構成を学び、バリエーション豊かなデザインを表現することができるようになる。 <講師経歴> 今井:音楽系芸能プロダクションにヘアメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアメイクにて活動中。 木本:モデル事務所にヘアメイクとして5年勤務。広告、イベント、雑誌、ブライダルショー等を中心に活動。その後海外でウェディングヘアメイク、コーディネーターとして経歴を積み、10年挙式施行にも携わり活動をの幅を広げる。帰国後フリーランスになりブライダルを中心に講師としても活動中。 松本:美容学校を最優秀で卒業後、心斎橋のサロンに入社、拠点を東京へ移し独立。現在も国内外のアーティストやタレントを担当しており、広告、カタログ、イベントやショーなど多岐に渡る分野で活動中。 永井:アパレル業界を経て美容に転身。セットサロンに所属しながらファッション誌、広告の撮影、テレビ局勤務。現在はブライダルを中心に活動し、花嫁担当、多数会場との契約。着付師としても活躍。ボディペイント、ボディアートにも幅を広げ、イベント関係等で出店。経験を活かし、トータルコーディネート力を伝えていきたい 高石:高校在学中に美容学校と並行しヘアサロン勤務を始める。国内外で活躍するhair and make up artist Eita氏に3年師事した後独立。自身でも渡仏しParisFashionweekのヘアチーム現場を経験する等、活動の幅を広げる美容業に携わり現在16年以上のキャリアになる。タレント、雑誌、広告の現場やアーティストグループから指名もあり、ミュージックビデオのヘアメイクやヘアウィッグ、ヘッドピースの制作とアートワークの力をいれている。様々な現場経験を活かして多様なヘアメイクスキルを伝えていきたいと、現在講師の仕事でも活動 佐藤:表参道のサロンで10年勤務後フリーランスで活動しながら芸能事務所にヘアメイクアーティストとして所属。撮影はおもにアパレルのカタログやムック、アーティストのアー写や雑誌媒体など。現在は美容師としてサロンワークしながらフリーで活動。講師としてのキャリアもあり、美容師とヘアメイク、広い視点で教育にも携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
世界観、モデル、背景、ライティング、画角全体を想定して施術。イメージをつたえる。(スチール) 非日常で独創性のあるデザイン、技術力を習得する。(コンテスト)							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	スチールについて導入。デザインの考え方						
2	バリエーションの技術習得						
3	バリエーションの技術習得					小テスト 10点	
4	バリエーションの技術習得						
5	バリエーションの技術習得						
6	メイクとのバランス						
7	中間テスト(スチール本番の最終確認)					中間テスト 20点	
8	コンテストについて導入。デザイン、コンセプトシート書き方						
9	バリエーションの技術習得						
10	バリエーションの技術習得						
11	バリエーションの技術習得					小テスト 10点	
12	バリエーションの技術習得						
13	バリエーションの技術習得						
14	メイクとのバランス						
15	定期テスト(コンテストデザイン)最終チェック					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	コンテスト	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井 阿部 吉田 高橋
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する <教員経歴> 今井/阿部:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している							
【授業を通じての到達目標】							
ウィッグを対象に、コンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 コンセプト作成及び仕込み 【到達目標】 テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む コンセプトをもとに、必要な材料をそろえる						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9	【授業単元】 コンセプト発表						
10							
11							
12							
13	【到達目標】 コンセプトシートを基に、ウィッグにヘアメイクを施す 制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う						
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	きもの着付け演習(初傳)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中澤・岡野
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
長きに渡り、着物着付け師・着物講師指導にあたり、自らも和装ブライダルの花婿・花嫁の着付けを手掛ける教員が冠婚葬祭の基礎知識をわかりやすく解説し、現代のニーズに応えられる上質の和装着付けを実施する。 基礎の浴衣から小紋の着付けまでを一人で着る自装を器具等を使用せず、どのような現場でも通用する技術を提供する。							
【授業を通じての到達目標】							
一人で着る着付けが出来る→小紋の着付けと名古屋帯の一重太鼓の帯結びができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
一般財団法人国際美容協会のきもの着付け教本							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	着付け前の着物の準備の仕方を覚える(小紋の着付け)						
2							
3							
4	帯結び名古屋帯の準備の仕方から一重太鼓の結び方					中間テスト 20	
5							
6						小テスト 20	
7	帯あげ帯締めまで鏡を見ないでできるようになる						
8						定期テスト 60	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	特殊メイク演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高岸
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
普段、撮影や収録現場で制作会社や編集からのリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも、特殊メイクに特化した授業を行う。							
<講師経歴> 高岸:CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手メイクブランドにて数多くの現場で活躍している。							
【授業を通じての到達目標】							
血のりやパテ等、特殊メイク教材を利用し、特殊メイクを仕上げる事が出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅰ 【到達目標】キズ、アザの基本・色・位置等を学ぶ。古傷の作成。						
2	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅱ 【到達目標】古傷の作成(完成まで)。火傷等の基本・色・位置等を学ぶ。						
3	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅲ 【到達目標】パテ等を利用した立体的な傷を学ぶ。						
4	【授業単元】中間テスト ドラマ・映画ヘアメイクⅠ 【到達目標】映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の基礎を学ぶ。						
5	【授業単元】ドラマ・映画ヘアメイクⅡ 【到達目標】映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の応用を学ぶ。						
6	【授業単元】小テスト イベントヘアメイクⅠ 【到達目標】イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの基礎学習。						
7	【授業単元】イベントヘアメイクⅡ 【到達目標】イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの応用学習。						
8	【授業単元】定期テスト 【到達目標】血のり等を使用し、手早くリアルな傷を作る。						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			